



▲写真左から菅根光雄尾花沢市長、佐藤孝弘山形市長、村岡藤弥大石田町長

令和3年1月12日に、尾花沢市と山形市との間で山形連携中枢都市圏連携協約を締結しました。

トピックス
TOPICS 1
山形連携中枢都市圏
連携協約を締結

「連携中枢都市圏」は、中核市である山形市を中心に、近隣の市町村同士が連携して経済の活性化や都市機能の強化、生活サービスの向上を図ることを目的に形成する圏域です。

この度、新たに尾花沢市と大石田町が加わり、構成市町は村山地区7市7町(※)となり、圏域人口は約55万2千人(2015年時点)となりました。

今後、様々な連携事業を実施し、圏域の活性化を図るなど、各市町の強みを組み合わせ一丸となり、東北地方の中でも一番元気なエリアとして発展していくことを目指していきます。

(※)山形市・寒河江市・上市市・村山市・天童市・東根市・尾花沢市・山辺町・中山町・河北町・西川町・朝日町・大江町・大石田町

【「山形連携中枢都市圏」に加わると
何ができるの?】

各市町が連携して様々な施策を実施することで、人口減少・少子高齢化社会にあっても、山形県ひいては東北地方の中核として地域ごとの特色を相互に活かしながら、今まで以上に市民サービスの向上を図っていくことができます。

- ・広域観光の促進
- ・次世代型医療用重粒子線照射装置利用のPR
- ・病児・病後児保育施設の広域利用
- ・子育て支援センターの相互利用など



▲「おやじたちの絆なそば」と題し、山形県ゆかりの俳優がそば店や宝栄牧場をめぐり、尾花沢そばの美味しさの秘密にせまる番組構成となっています。



▲宝栄牧場での撮影の様子。そば店主とそば生産者が、「オール尾花沢産そば」ができるまでの熱い思いを語ります。

尾花沢市そば生産振興協議会で、県外視聴者向けの尾花沢そばPR番組を制作。「思わず尾花沢にそばを食べに行きたくなる」番組ができました。

トピックス
TOPICS 2
思わず食べたくなる!
尾花沢そばPR番組制作

尾花沢市そば生産振興協議会は、そば生産者と販売店(そば店)、JA、行政からなる官民一体の組織で、原種最上早生の種子確保と尾花沢そばの生産、振興に取り組んでいます。

原種最上早生の種子は、他品種との交配を防ぎ、収穫量を増やすため、宝栄牧場内で高地隔離栽培を行っています。これにより原種最上早生を市内そば店で1年を通して提供できるようになりましたが、「尾花沢そば」の知名度向上が課題となっていました。

そこで、そば作付面積や収穫量で県内トップを誇るこだわりの「尾花沢そば」ブランドの確立を目指すため、プロモーション特別テレビ番組を制作しました。種子生産から販売まで、「尾花沢そば」の全てを網羅したこの番組は、宮城県内で2月13日に放送されました。今後、「尾花沢市公式YouTube」へ掲載するほか、様々な場面で活用していきます。

第2次尾花沢市都市計画マスタープラン

市民ワークショップ
おばなざわ 暮らしとにぎわいづくりワークショップ
を開催しました

現在、本市では今後20年先のまちづくりにおいて基本的な方針となる「第2次尾花沢市都市計画マスタープラン」の策定に取り組んでいます。計画の策定にあたり、市民の皆様から意見を広くお聞きするため、市民ワークショップを全2回開催し、大学生から90歳まで延べ52人の方に参加いただきました。

第1回 10月18日(日)
テーマ：現在の暮らしとにぎわいを豊かにするには?
～いまの尾花沢の強みと弱みを考えてみよう～

本町グループと市全体グループに分かれて、尾花沢市の「強み」と「弱み」を考えながら意見交換を行いました。



本町グループ

- ◎強み
 - ・芭蕉や清風の文化が色濃く残っている
 - ・歩ける範囲で買い物ができる
- △弱み
 - ・空き家が多い
 - ・公園が少ない
 - ・バスの本数が少ない

市全体グループ

- ◎強み
 - ・銀山温泉・徳良湖・山等の観光地が魅力
 - ・自然豊か
- △弱み
 - ・車がないと生活が不便
 - ・コミュニティの減少
 - ・除雪が大変



第2回 11月15日(日)
テーマ：未来の暮らしとにぎわいはどうなる?
～将来の尾花沢市を考えてみよう～

第1回の結果をふまえて、「強みを活かすための取り組み」や「弱みを克服するための対策」は何か、また市民、行政、その両方が担う協働のうち、それらを誰が担うかという「役割分担」について意見交換を行いました。



本町グループ

- 〈役割分担〉
- (市民)・バスを積極的に利用し、運用を促進する
 - (行政)・公園の新設
 - (協働)・徳良湖・オートキャンプ場利用者へ商店街クーポンを配布し、街なかにも来ってもらう
 - ・ハウスメーカーと共同で空き家をリフォームし、貸し出す
 - ・芭蕉・俳句をキーワードに市民と研究者の交流の場を作る

市全体グループ

- 〈役割分担〉
- (市民)・住民同士が協力して除雪できる仕組み作り
 - (行政)・観光地がわかりやすいような看板の設置
 - (協働)・観光地を拠点とした体験型イベントの創出
 - ・農地や空き家を活用した体験型農業の取り組みを推進



皆様からいただいた貴重なご意見は、これから計画を考えていくにあたり大切な要素としてお預かりし、今後も皆様の暮らしに寄り添った計画を目指して策定を進めてまいります。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。